

プロ野球における観客動員数の規定要因

—2013—2014年シーズンの検証—

早田 慎太郎 (競技スポーツ学科 スポーツビジネスコース)

指導教員 吉田 政幸

キーワード：観客動員数，規定要因群，重回帰分析

1. 緒言

パ・リーグチームの収益源はそれぞれのフランチャイズ地域と連携を深め、ファンサービスに力を入れることによる、チケット収入が収入の源であった (スポーツ白書, 2014)。2005年以降入場者数が実数で発表されるようになってから、パ・リーグでは159万3440人も観客動員数が増加している (スポーツ白書, 2014)。各チームの収益も平均で約67億円増加しており、チケット収入を増加させることはプロスポーツチームの財務的な自立を促すと共に、安定的経営を可能にすることができると考えられている (松井, 原田, 2011)。

本研究は、シーズンにおける試合毎の観客動員数に影響を与えている要因群を明らかにすることを目的とする。

2. 研究方法

プロ野球パシフィックリーグに所属し関東圏に本拠地を置く球団を研究対象とし、2013年度から2014年度までの2シーズンのホームゲームをサンプルにした (144試合)。

データは研究対象球団の公式HPに掲載されている二次的データを活用した。当日の観客動員数を従属変数とし、Boyd and Krehbiel (1999) より用いた5つの要因群と、各要因群を構成する23個の変数を独立変数とした。重回帰分析を用いて各変数が観客動員数に及ぼす影響を分析した。

3. 結果

本研究で用いた23個の変数により、観客動員数の約63%を説明した。観客動員数に影響を与える要因群を検証した結果、気候関連要因群の気温、天気、マネジメント関連要因群のキッズ (土曜日イベント)、ファミリー (日曜日イベント)、セレモニー、マッチデーイベント、限定グッズ、花火が観客動員数に有意な影響を与えることが明らかになった。

表1 重回帰分析結果

独立変数	従属変数：観客動員数		
	B	β	p
気候関連要因群			
気温	334.68	.30	<.01
天気	-3283.8	-.14	<.05
スケジュール関連要因群			
後半戦	-1794.8	-.15	n.s.
交流戦	1311.82	.08	n.s.
Jリーグの試合日程	-570.88	-.04	n.s.
対戦相手関連要因群			
日本ハム	2157.03	.13	n.s.
東北楽天	-1613	-.10	n.s.
埼玉西武ライオンズ	-1078	-.07	n.s.
福岡ソフトバンク	-333.51	-.02	n.s.
マネジメント関連要因群			
シニア (火曜日イベント)	-348.56	-.02	n.s.
女性 (水曜日イベント)	147.17	.01	n.s.
学生 (木曜日イベント)	-235	-.01	n.s.
サラリーマン (金曜日イベント)	1470.79	.08	n.s.
キッズ (土曜日イベント)	7015.05	.44	<.01
ファミリー (日曜日イベント)	6261.22	.41	<.01
セレモニー	6125.69	.21	<.01
マッチデーイベント	1888.11	.15	<.05
限定グッズ	1895.43	.15	<.05
花火	1858.98	.15	<.05
始球式	-695.37	-.04	n.s.
競技成績関連要因群			
前回戦でのHR	644.34	.05	n.s.
順位	287.21	.07	n.s.
前回戦での勝率	-78.91	.00	n.s.
R ²	.63		

4. 今後の展望

今後は研究対象となるリーグやチームの数を増やし、より多くの試合を母集団として観客動員数の規定要因を明らかにしていく必要がある。

引用・参考文献

Boyd, T. C., & Krehbiel, T. C. (1999). The effect of promotion timing on Major League Baseball attendance. *Sport Marketing Quarterly*, 8(4), 23-34.